

～会長便り～

第 27 回参議院議員選挙が終わりました。ご存じの通り私達が応援する「本田あきこ」先生が自民党比例 12 番中 11 番で当選されました。自民党には大変厳しい選挙でしたが、152,518 票、長崎県では 2,357 票、佐世保市では 438 票という結果でした。これは皆さんお一人お一人の努力の結晶であり、心より感謝致します。2 期目の本田先生はこれまでより更に影響力が増すと思います。薬剤師という専門性を持つ本田先生が医療現場の課題や薬剤師の視点を継続的に国政に反映させることで私達の職能がこれまで以上に注目される可能性があります。地域での毎日の活動をしっかり行い、課題を見つけ評価し本田先生を通して国に伝える事が出来ればやりがいもありますね。明日も頑張ってください。

～院外処方箋コーナー運営委員会だより～

6/8（日）に佐世保市薬剤師会の定時総会が開催されました。今後の会務を検討するにあたり、院外処方箋コーナーの運営の在り方について、様々なご意見を賜りました。本事業は、院外処方箋の発行が始まって間もない頃、基幹病院と薬局を繋ぐ架け橋として、患者様がスムーズな調剤を受けられるように開始した事業であり、当時の運営に携われた諸先輩方のご苦労も多かったと拝察いたします。その甲斐があって、私たちは日常の業務で F A X 調剤の恩恵を受けているのですが、院外処方箋コーナーの運営は年々厳しいものとなっているのが現状であります。その背景には、処方日数の長期化による処方箋発行枚数の減少、コロナ禍による受診者数の減少など、いくつかの要因が挙げられます。また、今後の見通しとしては、医療 D X 推進による電子処方箋への移行も大きな影響を受けるものと考えられます。

総会でも議題に挙がったことは、然るべきことであり、時代の流れの中で、院外処方箋コーナーの運営について、考え直す岐路に立たされていると言えるでしょう。そのことを肝に銘じて、この課題に対して取り組んでいきたいと考えております。会員の皆様も、ご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。

～会員薬局へ「在宅医療・多職種連携サービスガイド」の配布について～

在宅医療・介護連携協議会より、訪問看護編・訪問歯科診療編・訪問薬剤管理指導編・介護支援専門員編を 1 冊にまとめた「在宅医療・多職種連携サービスガイド」が完成したので、薬局の皆さんに活用して欲しいと薬剤師会へ持参されました。お手数ですが「サービスガイド」を事務所 3 階まで受け取りに来て下さい。

～会員薬局へ「爆弾テロ対策への協力依頼」について～

佐世保警察署外事課長が 7/23（水）の理事会において、ながさきピース文化祭 2025（第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭）が 9/14（日）～11/30（日）に長崎県内で開催されるため、化学物質から作られる自家製の爆発物による爆弾テロを未然に防止するため、薬局の皆さんに不審者の通報等の協力をお願いされました。外事課長の講演原稿等を市薬 HP 会員専用へ掲載しましたので、薬局の皆さんはご確認ください。

～佐世保市子ども未来部子ども支援課からのお知らせ～

佐世保市子ども未来部子ども支援課より薬局へポスターの送付等を行う予定としております。

◆高校生等福祉医療費の助成方法が改正されます。

実施時期：令和 7 年 10 月 1 日診療分から

改正内容：償還払い方式 ⇒ 現物給付方式へ変更

※佐世保市、平戸市、松浦市、小値賀町、佐々町の医療機関において

～在宅医療・介護連携推進に係る多職種連携研修会[開催案内]～ （西九州させぼ広域都市圏 R7 年度 在宅医療・介護連携事業）

日時：令和 7 年 9 月 6 日（土）14：00～17：00

場所：佐世保市労働福祉センター 2 階大会議室

テーマ：多職種連携を活かした ACP（人生会議）の取り組み方

講師：宮崎大学医学部教授 板井 孝太郎 先生

申込：右記 QR コード（詳しくはウェブサイト「かっちえて」）



佐世保市薬剤師会 会務報告【7月】

9 日	三役会	市薬会議室
16 日	常務会	市薬会議室
23 日	理事会	薬国保会議室
24 日	生涯教育	ハイブリッド研修会
28 日	高齢者福祉専門分科会（井手） 在宅医療・介護保険委員会	佐世保市中央保健福祉センター WEB 会議
30 日	デンタルフェスティバル関係団体合同協議会（河野）	歯科医師会館